



中央地区
新春落語会
に参加して



柳家 さん光 さん

1月26日(火)、「中央地区新春落語会」で、柳家権太楼さんのお弟子さんである二つ目、柳家さん光さんの落語に参加させていただきました。前年に続いていた落語会、縁あつて前回、今回と参加させていただきました。

落語会というと中々身近ではないですし、敷居が高いもの、「通」じゃないと行けないものだと思います。で、この機会を頂きちよつと行ってみようかなってという感

じでの参加でした。参加者の半数以上の方がリーダー。さん光さんも今回の演目に困られているようなところも見せつつ、本題にはいる前の松本ならではの話題やご本人のお話に引き込まれました。

さん光さん、今回は松本の過酷な環境に邪魔をされて声の不調、更には座っていられるタイムリミットをオーバーし、足がしびれて立てなくなるといようなアクシデント

にも見舞われました。でもそこはプロ、こんなことも大きな笑いに変えて落語を披露されました。

最初に話された「悟気の独楽(りんぎのこま)」は、初めて聞くものでしたが、古典落語ながら今の風潮に直してのお話も分かりやすく、皆さん大笑い。今年の素敵な初笑い心が豊かになりました。

松本は多くの落語会があり盛んに行われていますが、このような催しを公民館としてやって頂けてとても有難かったです。

さん光さんは、また来年もいらつしやるでしょうか。このようにお越しいただく方々に、この地区ならではの「おもてなし」などもできたらいいなと思いましたし、また可能なら特別講座を設けて頂き、落語のあれこれなど教えてもらいながら交流もできて初心者にもわかりやすい落語会を開催していただけたらなとも思いました。笑いが溢れ心豊かになれる公民館であつてほしいと思います。

さん光さん、関係者の方々、本当にありがとうございます。そしてご苦勞様でした。また機会があつたら参加させていただきます。

(S・S)

中央地区

「居酒屋公民館」

参加者から



今回で6回を数える中央地区恒例の「居酒屋公民館」が2月19日(金)午後6時、大手公民館で開かれた。

毎回楽しみにしている常連客の他、特別に今井、岡田地区からの参加者もあり、畳敷きの広間に約40名が参集して「居酒屋公民館」は大繁盛だった。

主催者の心のこもった「おでん」を肴に、各人が持ち寄った自慢のお酒を惜しげもなく振る舞い、酌み交わしていた。時節柄話題に事欠かさず、地区をまたいで和気あいあい、銘酒に酔い痴れながら心ゆくまで交流を楽しんだ。

何時もながら「居酒屋公民館」を支えてくださる米山地域づくりセンター長、高野公民館長には感謝、感謝。

次回が楽しみである。

他地区の皆さんも参加され
交流を深めました



玄関に掲げた看板。
賑やかな声が聞こえます



毎回大盛況の居酒屋公民館

子育てママの 食育講座に参加して

萩原 史香 (六九町)



講師の
伊藤麻理先生



2月18日(木)、子育て中のママを対象とした食育講座が開催され、私は2歳の娘と参加しました。

1時間ほどで栄養バランスのとれた6品のメニューが完成しました。見た目にも美しく、薄味のため素材の旨味が感じられ、心も体も満足する食事でした。娘もおいしそうに食べていました。

また調理中は別室で託児をしていただきました。娘は託児経験が少なく、最初は大ききで私も不安でしたが、実習が終わる頃にはすっかり泣きやんでいました。親子ともに成長でき、貴重な経験になりました。

ました。

改めて食事の大切さを考える良い機会になり、家族で「おいしいね。」と会話をしながら笑顔になれる食事を心がけたと思います。

講師の伊藤麻理先生、お手伝いいただいた健康づくり推進員の方々に感謝いたします。

赤羽先生へ感謝の言葉

田中 啓子 (松栄町)



参加者に指導される
赤羽先生

時かさね
ただひたすらの 十二年
絆かけはし 心の癒し

いきいき元氣大学の講師を長年つとめられた赤羽義徳先生が、この3月で退任とのこと、とても寂しくなります。

私は平成16年度に始まった第1回から主人と一緒に生徒でしたので、感慨深いものがあります。先生のいつもと変わらない穏やかな笑顔や語り口にどれだけ癒されたことか。

朝の散歩、ストレッチ、自

己体調管理、無理をしない等、先生のご指導を受けながら自然に身につきました。

これからは生きていく幸せをかみしめながら、毎日を大切に過ごしたいと思います。

赤羽先生、長い事本当にありがとうございました。まだまだ寒さは続きます。お身体大切にご自愛くださいませ。

長くひく 二つならんだ

おだやかなれと

い の る こ ころ よ

長元坊 チョウゲンボウ

コミュニティカフェ 上土日和 開催



2月14日(日)に、ふれあいホールで行われた松本大学、上土商店街振興組合主催の「コミュニティカフェ上土日和」では、バレンタイン・デイにちなんで、ロールケーキ作りなどの企画を実施しました。

松本大学と上土町とは商店

街の活性化に取り組んできた十数年来の付き合いがあります。これまでも松本大学の先輩方と上土町との共同企画として「揚土♡レトロロール」というロールケーキを開発した経緯があり、そこで今回の企画では、この共同開発した「揚土♡レトロロール」をより多くの方に知ってもらおうとの出来る機会になればと思います、企画を致しました。

いくつかの企画の中で最も盛り上がったのは、参加者全員で全長6メートルの生地を巻く「巨大ロールケーキ作り」でした。ふれあいホールがいつぱいになるほどの子どもから大人までの参加者が集まって、とても盛り上がりました。また上土商店街の皆さんに協力を頂き、このロールケーキの中には東門磯村さんのあんこ、モモカフェさんのジャムを入れ、更にはケーキの生地は橋倉さんに協力を頂きました。

今回、このような企画を通して上土町の方々と繋がりを一層深めることができ、今後の商店街の活性化の取り組みにも繋がるような企画となつて良かったと思います。

松本大学
観光ホスピタリティ学科2年

宮坂 絢子

松本城の野鳥たち

スモズ

33



写真は久保田佐久良さん(岡田在住)が、松本城の内堀で撮影

モズは、スズメ目モズ科モズ属に分類される鳥類です。

全長20センチ程の小さな体ですが、くちばしはタカのようにカギ型をしており、昆虫や両生類の他、小鳥を捕えることもあります。また、捕えた獲物を木の枝に突き刺す、枝股に挟むなどといった行爲を行う習性があります。これは秋に初めての獲物を生贄として捧げたという言い伝えから「モズの早贄(はやにえ)」と呼ばれています。

モズは百舌(もず)と書くように、様々な鳥の鳴き声を真似ることができるようです。